

震度と揺れの状況(震度階級表)

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
震度4	●ほとんどの人が驚く。 ●歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 ●眠っている人のほとんどが目覚めます。	●電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。	●電線が大きく揺れる。 ●自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
震度5弱	●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	●電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●座りの悪い置物の大半が倒れる。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	●まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●電柱が揺れるのがわかる。 ●道路に被害が生じることがある。
震度5強	●大半の人が物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	●棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。 ●テレビが台から落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。	●窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 ●据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
震度6弱	●立っていることが困難になる。	●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度6強	●立っていることができず、はわないと動くことができない。	●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が増える。 ●補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
震度7	●揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされることもある。	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに増える。 ●補強されているブロック塀も破損するものがある。

地震による液状化現象

地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが、地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合って一時的に液体のようにやわらかくなります。これを液状化現象といいます。



地震前は、砂などの粒がお互にくっついて、その間に水がある状態です。

地震により、砂の粒同士が離れて、水に浮いた状態になります。

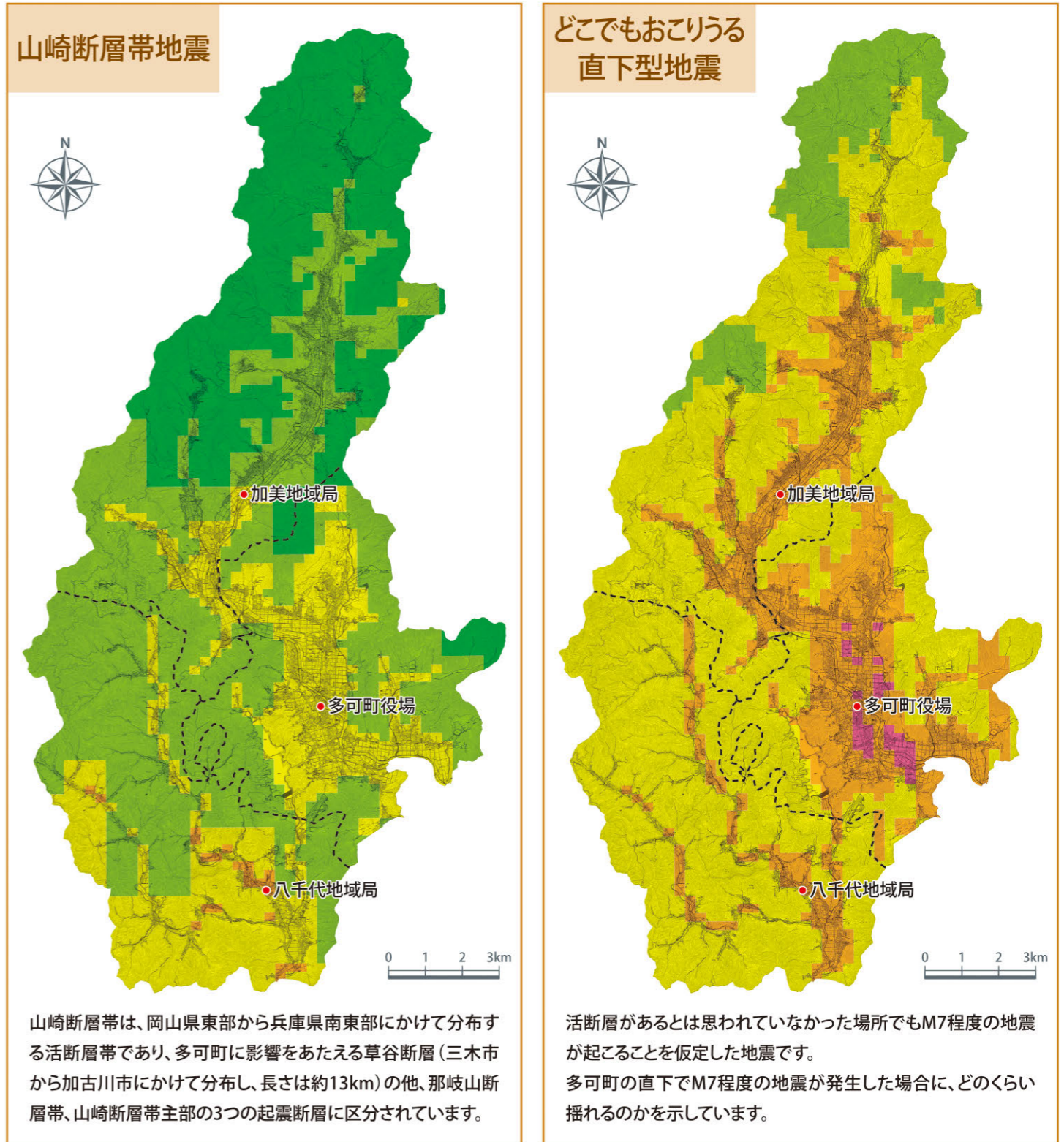
地震後、しばらくすると、バラバラになった砂の粒が沈んで、地面に水が出てきます。

液状化により発生する被害

- ①地盤の支持力が低下することで発生する建物等の沈下や傾斜。
- ②噴砂(水と砂が地中から噴き上げてくる現象)などによる被害。
- ③地下に埋設された水道管・ガス管・電線の損傷によるライフラインの寸断。

多可町震度分布

この震度分布図は多可町に影響をあたえる地震が発生した場合、どのくらいの震度が予測されるかを示したものです。震度予測はメッシュ(250m×250mの格子)ごとに行って、震度別に色分けされています。



山崎断層帯は、岡山県東部から兵庫県南東部にかけて分布する活断層帯であり、多可町に影響をあたえる草谷断層(三木市から加古川市にかけて分布し、長さは約13km)の他、那岐山断層帯、山崎断層帯主部の3つの起震断層に区分されています。

活断層があるとは思われていなかった場所でもM7程度の地震が起こることを仮定した地震です。多可町の直下でM7程度の地震が発生した場合に、どのくらい揺れるのかを示しています。

震度凡例 震度4 震度5弱 震度5強 震度6弱 震度6強 震度7

※このマップで示す震度は、あくまでも想定であり、実際にはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

南海トラフ地震は、今後30年以内の地震発生確率が70~80%と言われています。地震の規模はM8~9で、この巨大地震が発生すれば、特に太平洋沿岸地域で甚大な被害が生じるおそれがあります。本町においても、震度5弱~5強程度の揺れによる被害の発生が想定されます。